

# 市場価格高騰による損失回復のため、

## グリーンピープルズパワーに力を貸してください！

グリーンピープルズパワー株式会社（以下、GPP）は緊急増資を行います。

### 今回の緊急増資の背景

ご存知のように、昨年12月の末から1月末にかけて、日本卸電力取引所（JEPX）のスポット市場価格が高騰しました。とくに1月15日には最高額251円/kWh、1日の平均価格は、当社想定価格の15倍以上の154円/kWhとなりました。

天然ガスの供給滞りや寒波による電力需要逼迫が理由のように報道されていますが、どうやらそれとの関連はありません。価格高騰の原因は、このスポット市場に電気を販売していた旧一般電気事業者（以下「旧一電」※東電や関電など）が市場販売量を極端に減らしたためです。

これはJEPXのルールにも反するものと思われませんが、政府等による検証が行われるとしても、当社はまず、この1ヶ月分にあたる多額の仕入れ代金を支払わねばなりません。

すでにJEPXへの支払いは始まっており、2月半ばには東京電力パワーグリッド（旧一電である東電の送配電会社）から山のような請求が届きます。この間の「損失額」は2000万円を超え、状況が改善されなければ、損失は2月になっても増え続け、合計4000万円に達すると判断しました。

当社はこれを、ユーザーさまの電気料金に上乗せするのではなく、緊急増資によって確保しつつ問題を訴えながら、監督責任を有する政府が正しく采配することを求めるべきだと考えました。これが、今回みなさまに緊急増資をお願いする理由です。

### 市場価格は落ち着きを取り戻しました

市場価格高騰の原因は明確で、旧一電による日本卸電力取引所（JEPX）への電気の売り惜しみです。JEPXに売り惜しんでも、全体の需要を減らせるわけではなく、電気を買えなかった新電力に大量のインバランス（計画値との差）を発生させたただけでした。やっと1ヶ月後に、無意味な売り惜しみとわかったのか、旧一電がJEPXに一定量の電気を販売するようになり、現在の市場価格は平常値に戻ってきています。

「理由なき売り惜しみ」はJEPXの運用規則でも禁止事項です。それにもかかわらず、12月26日以降ほぼ1ヶ月、旧一電は毎日2億kWh以上の売り惜しみをしました。これが、「理由あるもの」であったかどうかは、今後検証されることになります。

「理由がなかった」ら犯罪ですし、犯罪でなかったとしても、旧一電の任意の売り惜しみにより、今回のような「異常事態」が発生することへの対策は取らねばならないということになります。

### 実は対策は作られていたのかも？

今回の市場価格高騰の背景にはもう1つ「インバランス料金制度」の問題があります。インバランスは「計画値との差」で、通常は前日に届けた計画と当日の需給の過不足、せいぜい5%程度です。ところが今回の異常事態では、市場に電気が販売されなかったため、電気を買えない新電力が多発しました。計画値を満たせないのもインバランスになります。

インバランス料金は、約定価格（取引成立価格）よりも高く設定されているため、新電力各社は明日のインバランスを避けるために今日の約定価格より高い買い札を入れました。これが重なり合って価格高騰を招いたのです。

不思議なことに、2021 年度からこのインバランス料金制度は変更されることになっており、需給逼迫していないときの上限価格は 45 円/kWh、需給逼迫の緊急時でも 200 円/kWh となります。先日急遽決まった「上限価格 200 円」の制限は、それを前倒しして実施されたものでした。市場価格を 250 円に上げることは、2021 年度以降はできなくなります。その直前に旧一電は「本当に上がるのかな？」と実験したのでは？とさえ思えるのですが・・・。

### **安心して増資にご協力ください。**

JEPX への旧一電からの電気販売の回復、インバランス料金制度の改革という 2 つにより、JEPX のスポット市場が再び今回のような異常事態となることはないと判断します。したがって、今後の営業は市場価格を気にせず、どんどんやれると思っています。

ただし、今回の 1 ヶ月の市場価格高騰により当社は 2000 万円以上の損失をすでに被っています。4000 万円にはならないかもしれませんが、まだ正確な請求書が届いたわけではありません。請求されたものを支払わなければ小売電気事業のライセンスを失います。

こんな小さな会社に増資協力してもその先があるのか・・・と思われる人もあるでしょうが、ここまで情報収集ができ、ここまで分析している会社はほとんどないと思います。これが、この小さな会社の実力でもあります。

今回の市場価格高騰は原因も明確で、実はすでに対策もされていると判断できます。他の新電力と連携しつつ、損失を取り返す努力も致します。今回の損失を乗り越えれば、当社は本来の成長軌道に戻れます。もともと今年度のユーザー 1000 件達成、年度黒字化という目標まで、あと一息のところでした。

増資にご協力いただき、どうかグリーンピープルズパワーに戦い続ける力を与えてください。支払額の減額、返還等が実施され、余剰資金ができましたら、それは JEPX に頼らない「非 FIT 発電所」の建設資金として活用させていただきます。

増資の概略は以下の通りです。

- ・ **緊急増資目標株式：800 株**
- ・ **1 株：5 万円**
- ・ **目標総額：4000 万円**
- ・ **お申込期間：2 月 1 日（月）～ 2 月 10 日（水）**
- ・ **お振込期間：2 月 12 日（金）～ 2 月 19 日（金）**

※お申込み、詳細は当社ホームページをご覧ください。

<https://www.greenpeople.co.jp/>

2021 年 2 月 1 日

グリーンピープルズパワー株式会社

代表取締役 竹村英明

03-6274-8660 [info@greenpeople.co.jp](mailto:info@greenpeople.co.jp)